



「人・食・味を豊に」

Yutaka REPORT Foods

ユタカフーズレポート

第78期 中間報告書

平成29年4月1日⇒平成29年9月30日

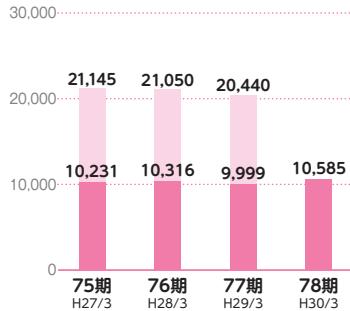
決算ハイライト



■ 第2四半期(累計) ■ 通期

売上高

(単位:百万円)



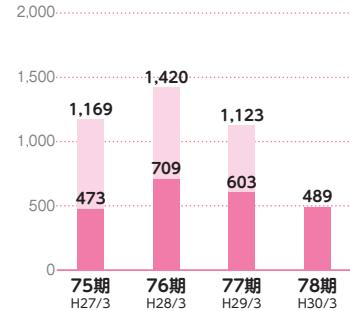
営業利益

(単位:百万円)



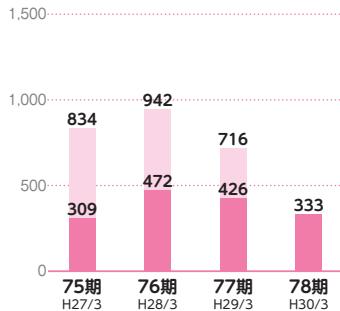
経常利益

(単位:百万円)



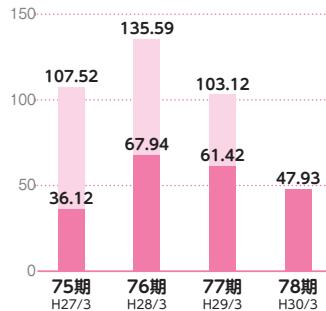
四半期(当期)純利益

(単位:百万円)



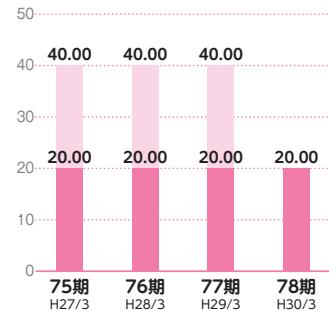
1株当たり四半期(当期)純利益

(単位:円)



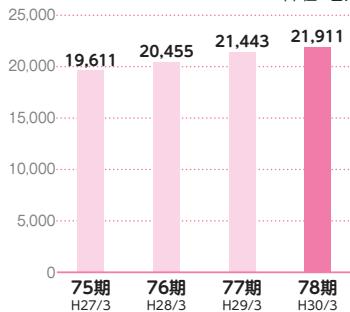
1株当たり配当金

(単位:円)



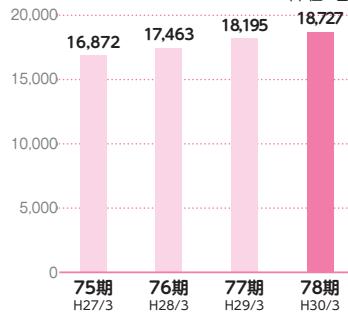
総資産

(単位:百万円)



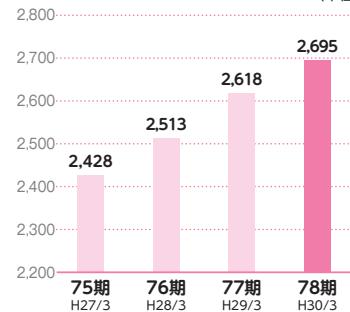
純資産

(単位:百万円)



1株当たり純資産

(単位:円)



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

ここに当社第78期第2四半期(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)の営業の概況と決算につきましてご報告申しあげます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

平成29年12月

代表取締役社長 **橋本 淳**



当第2四半期の概況

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府及び日本銀行による各種政策の効果等によりアベノミクス景気が戦後2番目の長さに迫るなど緩やかな回復が続いており、企業業績・雇用環境は改善の傾向が見られるものの、社会保障費負担の増加等に伴う家計の負担増により景気回復の実感なき経済成長となっております。また、米国新政権の政策実行力への懸念や英国のEU離脱問題の再燃や世界各地の地政学的リスクの増大等により世界経済に与える不安心理が増大し、依然として先行きは不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに、原材料価格の上昇が依然続く状況にあり厳しい経営環境が継続しております。

このような状況の中で、当第2四半期累計期間の売上高は10,585百万円(前年同期比5.9%増)となりましたが、人件費や減価償却費を始め諸経費の増加により、営業利益は427百万円(前年同期比22.4%減)、経常利益は489百万円(前年同期比18.8%減)、四半期純利益は333百万円(前年同期比22.0%減)となりました。

セグメント別の概要



チルド食品部門

チルド食品部門は、昨年12月末にて製造を終了したゆで麺の影響により、売上高は1,561百万円(前年同期比8.6%減)、セグメント利益は185百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

■セグメント売上高 (単位:百万円)



売上構成比

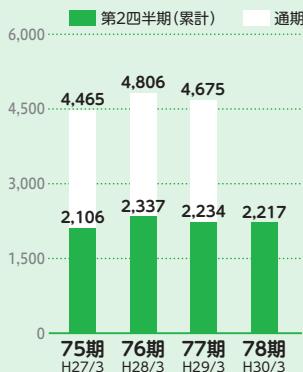
14.8%



粉粒体食品部門

粉粒体食品部門は、顆粒製品の受託が伸び悩み、売上高は2,217百万円(前年同期比0.8%減)、セグメント利益は9百万円(前年同期比76.2%減)となりました。

■セグメント売上高 (単位:百万円)



売上構成比

20.9%



液体調味食品部門

液体調味食品部門は、業務用調味液の売上が増加し、売上高は2,132百万円(前年同期比11.3%増)、セグメント利益は276百万円(前年同期比54.5%増)となりました。



売上構成比

20.2%



即席麺部門

即席麺部門は、3月にラインを増設したことにより、売上高は3,920百万円(前年同期比16.1%増)となりましたが、新ラインの増設に伴う償却費及び諸経費の増加により、セグメント損失(営業損失)58百万円(前年同期は129百万円のセグメント利益)となりました。



売上構成比

37.0%



その他部門

その他は、水産物の取扱いの減少に伴い、売上高は753百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は14百万円(前年同期比10.8%増)となりました。

売上構成比

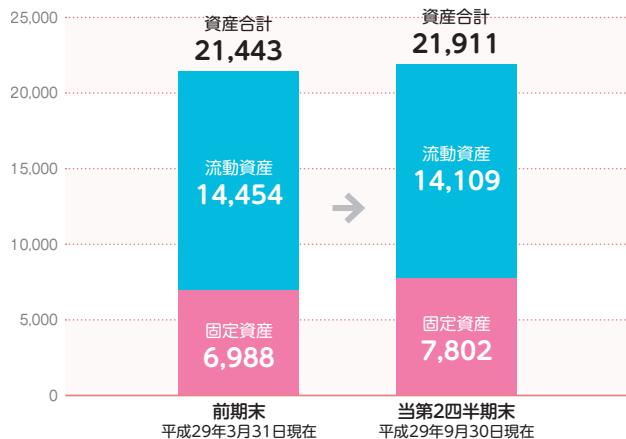
7.1%



貸借対照表の概要

(単位：百万円)

(単位：百万円)



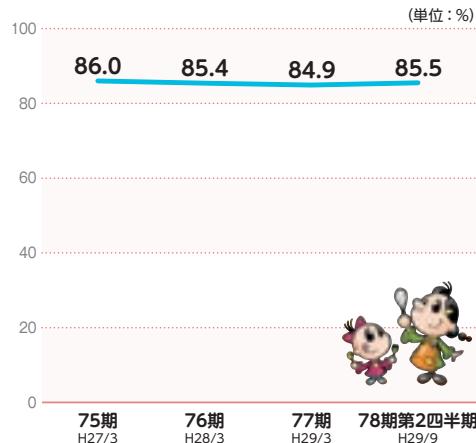
財政状態について

当第2四半期会計期間末における資産の部は21,911百万円となり、前事業年度末と比べ468百万円増加しました。これは主に、固定資産において機械及び装置（純額）が482百万円、投資有価証券が484百万円増加し、流動資産において現金及び預金が403百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,184百万円となり、前事業年度末と比べ63百万円減少しました。これは主に、その他の流動負債が316百万円減少し、繰延税金負債が138百万円増加したことによるものであります。

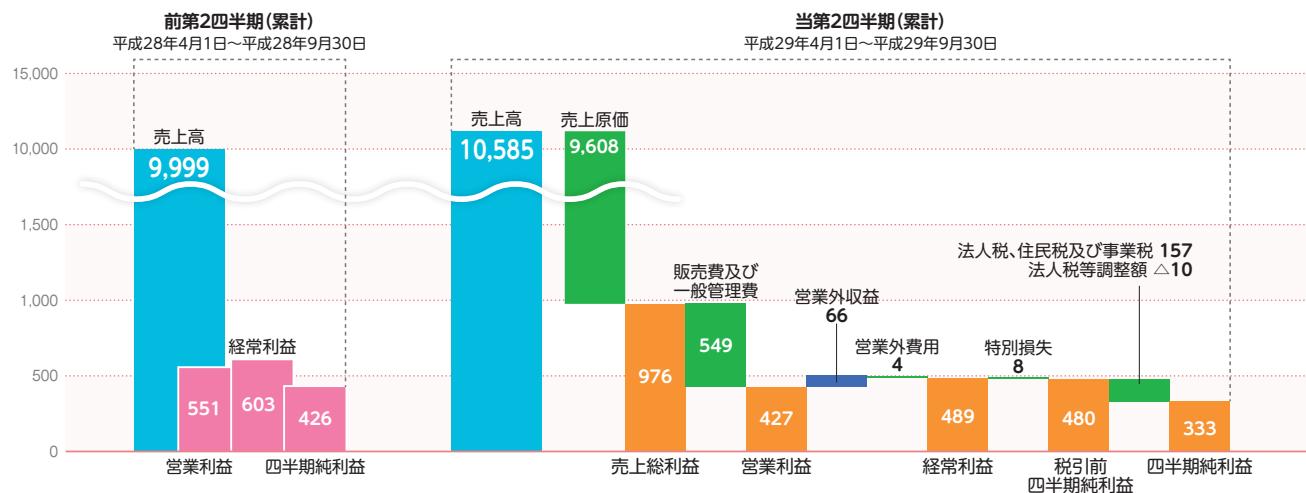
純資産の部は18,727百万円となり、前事業年度末と比べ532百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金が338百万円、利益剰余金が194百万円増加したことによるものであります。

自己資本比率の推移



損益計算書の概要

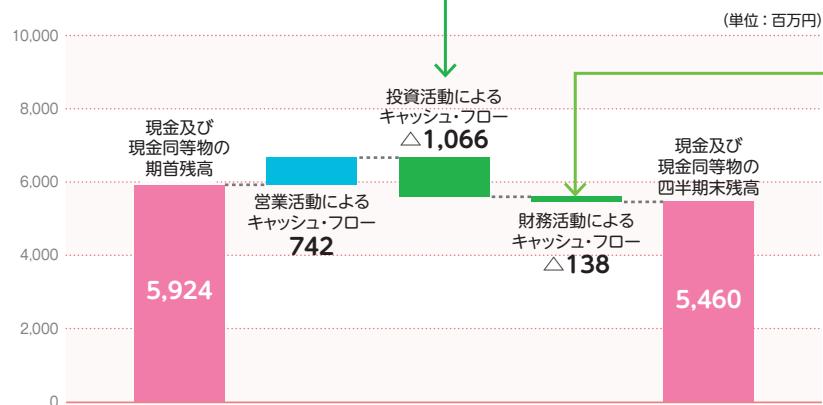
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー計算書の概要

当第2四半期(累計)

平成29年4月1日～平成29年9月30日



投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は1,066百万円となり、前年同期と比べ1,129百万円(51.4%)の減少となりました。なお、投資活動による主な支出は、有形固定資産の取得による支出1,001百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は138百万円となり、前年同期と比べ0百万円(0.1%)の支出減となりました。なお、財務活動による主な支出は、配当金の支払によるものであります。

「だし取り職人」で炊く



「十六穀おこわ」

新登場!



焼きあご、鯖節、鰹節、昆布、椎茸、いわしにぼし
六つの素材のだしの旨味と十六穀の味わいが楽しめる
簡単便利なおこわのセットです。



ユタカフーズオンラインショップアドレス <http://yutakafoods.co.jp/shop/>

ユタカフーズ楽天市場店アドレス <http://www.rakuten.co.jp/yf-yutaka/>

食育活動



地元の小・中学生に、身近な食品についての知識と食文化を伝えるための活動を行っています。

次の世代を担う子どもたちに、食の大切さや楽しさを伝えるため、地元の学校やイベントに出張し、「だしの秘密」と題して授業を行っています。



当社の概要

創 立	昭和19年10月21日
資本金	1,160百万円
本 社	〒470 - 2395 愛知県知多郡武豊町字川脇34番地の1
電 話	0569 - 72 - 1231 (代表)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市販用及び業務用の液体調味食品及び粉粒体食品等の製造販売 ・マルちゃん製品の液体調味食品、粉粒体食品、チルド食品及び即席麺等の受託製造

★ユタカフーズの最新情報はホームページをご覧ください。

<http://www.yutakafoods.co.jp>

ユタカフーズ 検索

役 員

代表取締役社長	橋本 淳
代表取締役常務	香川 崇弘
取 締 役	牧 清忠
取 締 役	川合 信市
取 締 役	道田 竹四
取 締 役	大茂 為継
取 締 役	中村 好伸
常勤監査役	奥田 裕治
監 査 役	津田 明人
監 査 役	石川 吏志

事業所・工場



本社/本社工場



鳥取営業所/鳥取工場



青島味豊調味食品有限公司

株 式 情 報

(平成29年9月30日現在)

株 式 の 状 況

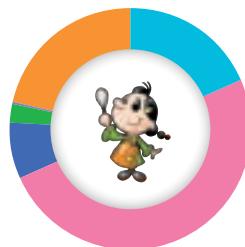
発行可能株式総数	35,000,000株
発行済株式の総数(自己株式1,883,705株を除く)	6,948,606株
株主数	2,255名
単元株式数	100株

大 株 主

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋水産株式会社	3,533	50.85
株式会社榎本武平商店	210	3.02
MSIP CLIENT SECURITIES	198	2.85
ユタカフーズ従業員持株会	192	2.76
株式会社三菱東京UFJ銀行	101	1.46
株式会社三井住友銀行	101	1.45
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	93	1.33
株式会社愛知銀行	85	1.22
三井生命保険株式会社	80	1.15
中部飼料株式会社	80	1.15

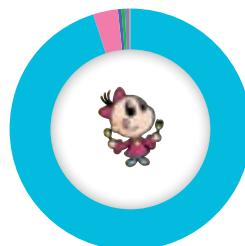
(注)持株比率は自己株式(1,883,705株)を控除して計算しております。

株 式 の 分 布



所有者別株式分布

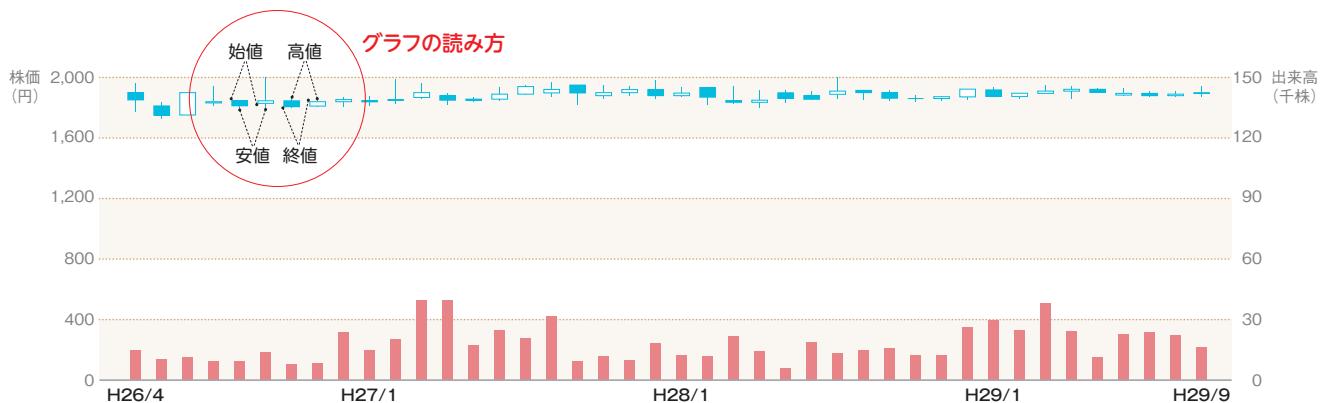
● 個人その他	1,620千株	18.35%
● その他国内法人	4,422千株	50.07%
● 金融機関	676千株	7.66%
● 外国人	214千株	2.43%
● 証券会社	13千株	0.16%
● 自己名義株式	1,883千株	21.33%



株主構成

● 個人その他	2,147名	95.21%
● その他国内法人	73名	3.24%
● 金融機関	12名	0.53%
● 外国人	8名	0.36%
● 証券会社	14名	0.62%
● 自己名義株式	1名	0.04%

株 価 ・ 出 来 高 の 推 移



株主優待のご案内

毎年3月末日現在の株主名簿に記載された100株以上所有の株主様へ、株主優待として自社製品を贈呈しております。

100株以上500株未満所有の株主様
800円相当の自社製品

500株以上1,000株未満所有の株主様
1,500円相当の自社製品

1,000株以上3,000株未満所有の株主様
2,500円相当の自社製品

3,000株以上所有の株主様
4,000円相当の自社製品

株主優待品例



株式に関するお知らせ

※ 単元未満株式の買取について

単元未満株式（100株に満たない株式）の買取を請求することができます。

当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」をご利用いただけます。

買取制度 例…当社株式を120株保有の場合



※ 配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金額収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当支払の都度「配当金計算書」を同封させていただきます。

※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株式に関する手続き等について

お手続き	お問い合わせ先	
	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など	証券会社に 口座を開設した証券会社 にお問い合わせください。	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)
単元未満株式の買取請求 その他お手続きに関する事項		
未払い配当金	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話:0120-782-031(フリーダイヤル)	

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
[基準日] 定時株主総会・期末配当 中間配当	毎年3月31日 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先（電話照会先）	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031（フリーダイヤル） 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店 および全国各支店で行っております。

